



# 岡山大学 (岡山県)

日本語能力の向上及び日本の文化、社会、経済、教育などに  
対する理解を深める

## ■大学紹介

### ① 大学の特色及び概要

#### 1) 特色と歴史

岡山大学は1949年に設立された国立大学ですが、その前身は1922年設立の岡山医科大学、1900年設立の第六高等学校などで、長い伝統があります。設立後発展を重ね、2021年4月から工学部と環境理工学部を再編統合して新しく生まれ変わった工学部をはじめとし、現在では文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、農学部の10学部、1プログラム。2023年4月大学院自然科学研究科と大学院環境生命科学研究科を再編・統合しスタートし、学位プログラム制を導入した大学院環境生命自然科学研究科をはじめとし、教育学研究科、社会文化科学研究科、保健学研究科、医歯薬学総合研究科、ヘルスシステム統合科学研究科、法務研究科の7大学院、4研究所を擁する全国で有数の総合大学です。

国際交流に力を入れているのが本学の特色のひとつです。本学に在籍している外国人留学生に対しての日本語教育は、教育推進機構が担当し、受け入れや奨学金のサポートは学務部国際教育推進課、生活面のサポートや履修指導は受け入れ部局が行っています。

#### 2) 学生数（2025年5月1日現在）

学部学生：10,246名  
大学院生：3,279名



### ② 国際交流の実績（2025年5月）

大学間交流協定数：189件  
部局間交流協定数：210件

### ③ 過去3年間の受け入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受け入れ実績

（各年5月1日現在）

2025年：留学生数：937人	日本語・日本文化研修留学生：2人
2024年：留学生数：966人	日本語・日本文化研修留学生：5人
2023年：留学生数：911人	日本語・日本文化研修留学生：2人

### ④ 地域の特色

岡山県は日本の西部にある中国地方に位置し、瀬戸内海に面しています。水島工業地帯を抱え工業が盛んであるとともに、農産物や水産物が豊かな県です。岡山は温暖な気候で、地震や台風などの自然災害もほとんどなく、日本で最も安心・安全で住みやすい地域と言われています。

岡山大学のある岡山市は岡山県の県庁所在地で、この地方の政治、経済、教育、文化の中心地のひとつです。岡山市の人口は約72万人です。

岡山市へは交通が大変便利です。新幹線を利用すれば、東京から3時間30分、新大阪から45分で岡山市に着きます

## ■研修・コースの概要

本コースは次の3種類の授業からなる。

- ①さまざまなレベルやトピックを扱う日本語クラス
- ②日本の文化、経済、教育に関する授業
- ③文学部、経済学部、教育学部の各学部の日本人学生対象の講義

### ① 研修・コースの目的

- b) 主に日本語能力の向上のための研修

### ② 研修・コースの特色

日研生は、文学部、教育学部、経済学部、のいずれかに所属し、指導教員の指導を受けます。日本語の能力が特に高い学生は、日本人学生と一緒に受講する教養共通教育科目や所属学部で専門科目の授業に出席することができます。また、各自の研究テーマに合った演習にも参加できます。

### ③ 受入定員

5名（大使館推薦3名、大学推薦2名）

### ④ 受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験のN2レベルの日本語（語彙6,000語、基本漢字1,000字程度）を習得している者。

### ⑤ 達成目標

アカデミックな日本語能力を養い、日本に関する専門的な知識を深めること。

### ⑥ 研修期間（在籍期間）

2026年10月1日～2027年8月下旬  
(2026年10月1日～2027年8月31日)

### ⑦ 奨学金支給期間：2026年10月～2027年8月

## ⑧ 研修・年間スケジュール

### 第3-4学期

9月末頃	渡日 新入生オリエンテーション
10月	授業開始
11月	大学祭
2月	授業終了

### 第1-2学期

4月	授業開始
8月	授業終了
8月中旬	修了レポート提出 修了式
8月下旬	帰国

## ⑨ コースの修了要件

各学期、選択科目を6単位以上取り、修了レポートを作成すること。修了時に修了証書を授与します。また、必要がある場合は、成績証明書も発行します。

## ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

### 1) 研修・コース科目の特徴

授業は原則として、第1・第2・第3・第4学期 各8週間開講されます（うち1週間は期末試験期間）。学生は指導教員と相談の上、自分のレベルや興味に合った科目を履修できます。必修科目は設けていません。

### 2) 研修・コース開設科目

#### 選択科目

プレースメントテストの結果に基づいて、日本語のクラスを決めます。日本語5は日本語能力試験N2程度、日本語6は日本語能力試験N1程度を目指す学生のためのコースです。応用日本語、あるいは文学部で開講されている上級コースは、既に日本語能力試験N1レベルに達している学生を対象としています。

## ◇中／上級コース (教育推進機構外国語教育部門日本語教育系)

授業科目名	概要	時間/ 学期	単位/ 学期
日本語5 (第1-4学期)	中級後期の総合的なクラス	60	4
多読で学ぶ 日本語2 (第1-4学期)	多量の日本語を読むクラス	15	1
映像で学ぶ 日本語2 (第1-4学期)	ドラマや映画を通して日本語を学ぶクラス	15	1
中級漢字・ 語彙 (第1-4学期)	中級の漢字・語彙を学ぶクラス	15	1
中級文法2 (第1-4学期)	中級後半の文法を学ぶクラス	15	1
日本を知ろう (第1-2学期)	日本の文化や社会について学ぶクラス	15	1
岡山を知ろう (第3-4学期)	岡山について調べながら日本語を学ぶクラス	15	1
メディア・ リテラシー2 (第3-4学期)	情報を批判的に読み取るクラス	15	1
日本語6 (第1-4学期)	上級前期の総合的なクラス	60	4
応用日本語 (書く・読む・ 聞く・話す) (第1-4学期)	上級の(書く・読む・聞く・話す)力を高めるクラス	各15	各1

## ◇上級コース（文学部・経済学部）

授業科目名	概要	時間/ 学期	単位/ 学期
日本語 1a/b (第1-4学期)	日本語の小説を読むクラス	15	1
日本語 2a/b (第2, 4学期)	文法とリスニングを学ぶクラス	15	1
日本文化学 a/b (第1, 3学期)	日本文化に関するテーマについて討論するクラス	15	1
日本語超級 (第4学期)	日本語を専門的に研究しながら、学術的な日本語を学ぶ	15	1
日本経済 事情IA/ IB/IIA/IIIB (第1-4学期)	日本の経済・社会について学ぶクラス	計15週開講で 30時間・2単位	

- 3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

授業科目名	概要	時間/ 学期	単位/ 学期
SDGsからみ る日本事情 (第1-4学期)	教育や食、地域など学期ごとのテーマに沿って、日本文化を体験しながら学ぶクラス	15	1

#### 4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

日本語の能力が特に高い学生は、上記科目以外に、日本人学生と一緒に受講する共通教育科目や所属学部で専門科目の受講が可能です。

#### ⑪ 指導体制

日本語・日本文化研修留学生を受け入れる学部において指導教員を決め、学業面の指導、生活面の支援を行います。

#### コーディネーター

内丸 裕子（教育推進機構）

堤 良一（文学部）

宮本 勇一（教育学部）

廣田 陽子（経済学部）



## ■宿舎

日本語・日本文化研修留学生は、岡山大学外国人留学生・研究員宿泊施設に優先して入居することができます。

宿舎費は次のとおりです。宿舎費の他に、入寮費30,000円（返金不可）、光熱水道料金が必要です。宿舎費等の支払いは入居後となります。

#### ○宿舎費（单身用）

- ・桑の木留学生宿舎：月額 14,000円～16,000円
- ・国際学生シェアハウス：月額 23,000円
- ・国際交流会館：月額 27,000円
- ・福居留学生宿舎：月額 28,000円

※宿泊費等は改定する場合があります。

※宿泊施設は自分の居室も含め、全館禁煙です。

※配偶者が岡山県在住の場合は宿舎への入居はできません。

※希望する宿舎を選ぶことはできません。

#### ○宿舎設備・備品：

- 机、椅子、ベッド、ユニットバス、トイレ、ミニキッチン、冷蔵庫、冷暖房機

#### ○宿舎周辺の生活情報・通学時間：

宿舎はキャンパス内に位置し、講義棟まで徒歩10～15分程度。

宿舎横にスーパー徒歩圏内にショッピングモールがあります。

#### 桑の木留学生宿舎



#### 国際学生シェアハウス



## ■修了生へのフォローアップ

2011年に岡山大学国際同窓会が設立され、毎年総会が開催されています。今後、更に海外での活動を充実させ、日研生を含め、本学修了生へのフォローアップに務めていく予定です。

また、日研生修了生のうち、より深く専門分野を本学で学びたい学生が本学に戻ってくるケースも増えています。

#### 国際同窓会HP

<https://alumni.ouic.okayama-u.ac.jp/>



## ■問合せ先

#### <担当部署>

岡山大学学務部国際教育推進課

住所：〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中2-1-1

TEL：+81-(0)86-251-7051（直通）

FAX：+81-(0)86-252-5022

E-mail：[dde7046@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:dde7046@adm.okayama-u.ac.jp)

#### <ウェブサイト>

岡山大学ホームページ

<https://www.okayama-u.ac.jp/>

岡山大学国際交流・留学支援

ホームページ

<https://intl.okayama-u.ac.jp/>